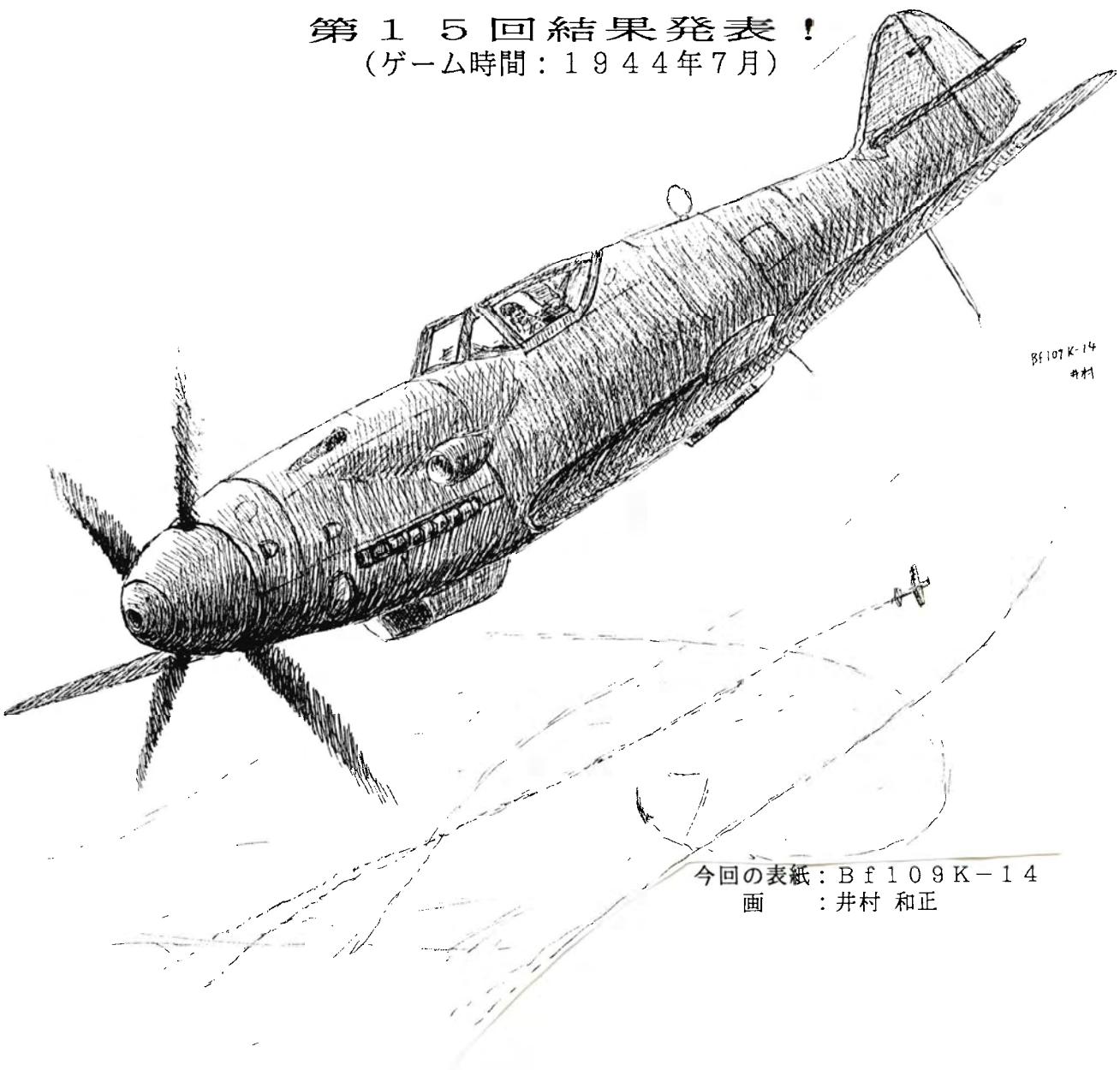


*FÜRSTENTUM
ISABERIA
MARINE
FLIEGER
TRUPPE.*

第15回結果発表！
(ゲーム時間：1944年7月)



☆戦果報告

《基地》

島津少将：ぐあつ！膠着状態になつたぞ。敵もなかなかやってくれる。例の最終兵器にそれだけの価値があることも事実だが。偵察隊の報告では未だ敵は問題の鉱石「ムーニウム」を手に入れた様子はないが、しかし、もはや時間の問題だろうと言つてきている。

何にしても被害が大きいぞ。爆撃隊に無傷または少破の機体は一機も無し、戦闘機の方も少破の機体が最も良い状態。被撃墜機多数。整備の方も大変だろう。

《空母》

松平大佐：まずいことになつたぞ。前回のマリアナ沖海戦に続いて、再び一隻空母を失った。「アイゼンマオアー（旧 蒼龍）」だ。敵も大分腕を上げてきている。われらが母艦「ガイア（旧 レキシントン）」も被弾した。ドックに入れて修理しなくてはならん。

さらに持ってきてミンダナオの戦線は膠着したままだという。産出地がちょうど戦闘地域のそばにあるために、敵がムーニウムを持って行けないのが何よりの救いだが……。同時にそれは我々の方でも鉱石を手にできないという事を意味する。頭の痛いところだ。

作戦参加者の状態 (SD:撃墜機数 BS:爆破目標数 SP:評価ポイント OP:作戦参加回数)

プレイヤー	Sqn.	乗機	愛称	キャラクター名	S	D	B	S	S	P	O	P	階級	状態	機体
岬当麻	3 1	1 2 3	Big H	ハンス	0		1	1	6	4	少尉	重傷	中破		
	3 1	1 2 3	バイアリータク	レーマン							大尉	戦死			
	F 1	零式戦	シャーマンマジック	ディードリット	3	0	1	9		7	少尉	重傷	中破		
		療養		ルー・ルカ							少尉	回復			
		療養		越前屋 幸太夫							准尉	回復			
吉楽征二	1 1	零式戦	吹雪一家	朝霧 恵美	0	0		1		1	准尉	重傷	大破		
	1 1	零式戦	吹雪一家	雷鳴							中尉	戦死			
	1 1	零式戦	吹雪一家	雷速雄							中尉	戦死			
	1 1	零式戦	吹雪一家	潮 正太郎							中尉	戦死			
	1 1	零式戦	吹雪一家	狭霧 明美	0	0		1		1	准尉	軽傷	中破		
	1 1	零式戦	吹雪一家	夕霧 友介							中尉	戦死			
	1 1	零式戦	吹雪一家若頭	東雲 英治	1	0	1	3		5	少尉	軽傷	中破		
	1 1	P 4 0	—	カルド・ウェルナー	0	0	1	3		6	少尉	軽傷	大破		
	2 3	1 9 0	—	リヒテラー・シャルンホルスト	0	0		1		1	准尉	軽傷	撃墜		
	3 1	九九爆	兄の仇！	沖田 深雪	0	1	1	1		3	少尉	重傷	大破		
		F 2 零式戦	七生報国	沖田 真雪							中尉	戦死			
鈴木敬純	F 2	烈風	信州不滅	坂井 二郎	1	0	3	2	1	2	中尉	生還	喪失		
	F 2	零式戦	伝国の王璽	袁術 公路	0	0		7	4		准尉	重傷	喪失		
		療養	零式戦 我一定考取大学	宮下 枯竹軒							准尉	回復			
		療養	九九爆	伴 太一							准尉	回復			
				遊川 和好							准尉	回復			
篠原崇	2 1	零式戦	妖精の女王	神 弥生	0	0		3	2	2	准尉	軽傷	中破		
	2 1	1 9 0	ライフルダント	ギュンター・ヴァント							中尉	戦死			
	2 1	1 9 0	きゅべれい♡	エルピー・ブル	1	0	1	4		5	少尉	重傷	撃墜		
	2 1	1 9 0	クロリアーナ女王陛下!!	レジーナ・ライス	1	0		7	3		准尉	軽傷	中破		
	2 1	3 3 5	Blau Blitz	エル・ブライス	2	0	3	6	1	2	中尉	軽傷	少破		
	3 1	1 9 0	炎の剣	神 亜由美	0	0		9	3		准尉	軽傷	中破		
	3 1	彗星	ラインの指輪	神 千尋	0	0	2	4		5	少尉	軽傷	撃墜		
				御里 健太郎							中尉	戦死			
	3 3	2 1 7	ラテル&アプロ	フラウ=ボウ	0	2	2	1		6	少尉	生還	中破		
				北海 熊五郎					1	9	3	少尉	生還		
				ベルフィービー						9	3	准尉	軽傷		

			遙華 美雷 ブルムファスト	6	2	准尉	重傷回復
		療養				准尉	
井村和正	2 3	雷電	見敵必殺号	メルダース	0	0 3 5	8 中尉 生還 少破
	3 2	彗星	炎の爆撃屋	赤根 武士	0	0 4 9	8 大尉 軽傷 中破
	3 3	1 9 0	クバニのライオン	大山 陣八			大尉 軽傷
追木健	1 1	零式戦	キーボード	クルピングスキー			中尉 戦死
	1 1	零式戦	作曲担当	藤井 麻輝			中尉 戰死
	1 1	零式戦	シンセサイザー	松本 孝弘	0	0 1	1 准尉 重傷 撃墜
	1 1	零式戦	ボーカル	森岡 賢	0	0 1	1 准尉 重傷 大破
	1 1	鍾馗	作詞担当	遠藤 遼一			中尉 戰死
菅原忠幸	2 3	零式戦	飛鳥	稻葉 浩志	1	0 2	1 准尉 生還 中破
	2 3	零式戦	黒き死神	シメカ・アヲウヅ			中尉 戰死
	2 3	P 4 0	人狼	サモン	0	0 3	2 准尉 重傷 撃墜
	2 3	P 5 1	昇竜	キリーク・シマー	1	0 8	4 准尉 軽傷 中破
	3 1	1 9 0	ローレライ	リュウ・シキフネ	2	0 6 4	1 5 大尉 生還 少破
	3 1	彗星	王虎	カラリバル・チュリアス	0	1 2	4 少尉 重傷 撃墜
	V T	天山	不死山	リー・ツアイリン	0	1 2 7	1 0 中尉 軽傷 中破
	V T	天山	フリーダム	カン・ケンカ		1 1	3 少尉 重傷
				ハル・ユウキ	0	0 1	1 准尉 軽傷 中破
				ケイゾウ・アサイ			
遠藤誠				リン・ファ			
	1 1	零式戦	G l ü c k	ヤン・ラオ			
	1 1	1 9 0	J ä g e r	フィラデルシア・カーマイン	0	0 1	1 准尉 重傷 喪失
	2 2	P 4 0	レッド・バロン	ウイリアム・ジェームス			
	3 1	1 2 3	G a n s	イチロウタ・コイミ			
秋信敏男	3 1	1 2 3	R ä u b e r	ヨロザ・コイミ			
	1 1	1 9 0	—	リサ・スナガワ			
	2 1	零式戦	—	タダカツ・ミカワ			
	3 1	1 9 0	—	ナイト・フォン・マルクス			
	療養	九九爆	不動				
降矢浩己	疗养	天山	三日月				
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	ペール・ラツール			
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	ビッテンフェルト	0	0 2 8	5 中尉 軽傷 撃墜
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	フォン・リヒトホーフェン	0	0 6	4 准尉 重傷 撃墜
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	市川 克志	0	1 8	2 准尉 軽傷 中破
秋信敏男	2 2	P 4 0 A	計画任務部隊	ウリヒ・ケスラー			中尉 戰死
	2 2	P 4 0 A	計画任務部隊	J. E. Warnock	0	0 3 0	1 2 中尉 軽傷 中破
	2 2	雷電	A 計画任務部隊	R. Hunter	0	0 4	4 准尉 重傷 撃墜
	2 2	疾風	A 計画任務部隊	佐々木 吉雄	0	0 4	3 准尉 生還 中破
	疗养	烈風	—	齊藤 武			准尉 回復 無傷
降矢浩己	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	田島 昌治			
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	K. Penn			
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	ギニュー			中尉 戰死
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	グルド			中尉 戰死
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	ジース	1	0 2	1 准尉 重傷 撃墜
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	バータ			中尉 戰死
	2 2	零式戦	牛乳特攻隊	リクーム			中尉 戰死
	2 2	P 4 0 A	計画任務部隊	ハーロック			中尉 戰死
	2 2	P 4 0 A	計画任務部隊	ラインハルト	0	0 1	1 准尉 重傷 大破
	2 2	雷電	A 計画任務部隊	シェーンコップ	0	0 3 0	5 中尉 軽傷 喪失
2 2	疾風	A 計画任務部隊	ミッターマイヤー	1	0 5 8	1 0 大尉 生還 少破	
	3 1	1 2 3	A 計画任務部隊	加藤 伸希子			中尉 戰死

3	1	1 9 0	強襲ヤサイ人!!	カカラット					中尉戦死		
3	1	1 9 0	強襲ヤサイ人!!	ターレス	0	0	1	1	准尉重傷	撃墜	
3	1	1 9 0	強襲ヤサイ人!!	ナッパ					中尉戦死		
3	1	1 9 0	強襲ヤサイ人!!	ベジータ	0	0	1	1	准尉軽傷	中破	
3	1	1 9 0	強襲ヤサイ人!!	ラディツツ	0	1	3	1	准尉重傷	撃墜	
3	1	九九爆A-計画任務部隊	大久保直美		0	1	3	1	准尉軽傷	中破	
			山崎さと子								
3	1	流星改A-計画任務部隊	松井綾		0	1	4	1	5	中尉生還	中破
			南野陽子								
3	2	天山 A-計画任務部隊	神永友紀子		0	1	1	2	4	少尉軽傷	中破
			神永友美子			1	1				
			神永友理子				3	1	准尉		
3	2	2 1 7 A-計画任務部隊	石見直子		0	2	5	9	1	0	大尉生還
			鈴木悦子								中破
			降矢浩巳				1	6	3	少尉軽傷	
			猪熊柔							生還	
		療養	彩弧由貴							准尉回復	
藏田昌弘	1	2 P 4 0	—	0-ザ・シャイアン					中尉戦死		
	1	2 P 4 0	—	ホセ・ギリアム	0	0	4	2	准尉生還	中破	
	1	2 P 4 0	—	ラルフ	0	0	1	1	准尉生還	撃墜	
	1	2 P 4 0	—	ロバート・デ・ヴァイス	0	0	3	2	准尉軽傷	大破	
	3	2 1 2 3	—	相田那智	0	1	4	2	准尉軽傷	撃墜	

☆略号解説

1 2 3 … H s 1 2 3 A - 1 零式戦…零式艦上戦闘機五二型乙
 P 4 0 … P - 4 0 M ウォーホーク 1 9 0 … F w 1 9 0 G - 3
 九九爆…九九式艦上爆撃機一二型 烈風…艦上戦闘機「烈風」一二型
 3 3 5 … D o 3 3 5 A - 1 プファイル 舞星…艦上爆撃機「舞星」一二型
 2 1 7 … D o 2 1 7 E - 2 雷電…局地戦闘機「雷電」二一形
 鍾馗…二式单座戦闘機「鍾馗」二型乙 P 5 1 … P - 5 1 C ムスタンガ
 天山…艦上攻撃機「天山」一二型 流星改…艦上攻撃機「流星」一二型

☆状態欄解説

生還…文字通り 軽傷…ちょっとした怪我 重傷…文字通り。治療費以外無料で休めます
 戦死…文字通り 事故…事故死。特進の対象にはなりません 回復…ケガ・病気が全快

☆機体欄解説

無傷…文字通り 少破…軽いダメージ 中破…少し痛いダメージ 大破…使用不能
 撃墜…文字通り 喪失…母艦／基地攻撃による喪失 墜落…前記以外による喪失

☆次回作戦

少将：引き続きミンダナオ作戦だ。今回は艦載機部隊も基地航空隊に編入されるので、一層まとまった攻撃が期待されることだろう。なお、爆撃には新開発の「ナバーム弾」を使用するため、全部隊水平爆撃だ。中隊ナンバーごとに爆撃コースへ侵入する。今回追い払えんと、我々の方はもう持ちこたえられん。それに、近いうちに日本軍が行う台湾航空戦に戦力を割かねばならんという事情もある。今回でカタを付けてやる意気でいけ。

◇次の編成

《基地》

飛行第101戦隊〈前衛〉

第1中隊 第2中隊 第3中隊

飛行第102戦隊〈直衛〉

第1中隊 第2中隊 第3中隊

飛行第103戦隊〈爆撃〉

第1中隊（水平） 第2中隊（水平） 第3中隊（水平）

※今回「ガイア」がドック入りのため、空母シナリオはありません。

PCリプレイ

不利を勢いで飛ばそうというのであろうか。イザベリア海軍の航空隊は、ひとたまりになってミンダナオ島の敵本拠地へ向かった。先陣は飛行第101戦隊である。「吹雪一家」をはじめとして、零式戦が目立つ。やがて脱落者が出てた。飛行第102戦隊のシェンコップ中尉である。搭乗する雷電の航続距離が足らないのだった。

目標基地に到達すると、間髪を入れずに迎撃機が上空から降りかかってきた。新兵で、対応にまごついた雷鳴、雷速雄、夕霧友介があっけなく撃墜される。爆撃隊の方でも加藤亜希子、クルピングスキーが喰われている。

被害局限策で各機は散開したものの、それでは弾幕効果を期待することも出来ず、ほとんどが無駄弾となってしまい、その日の作戦飛行は終わりを告げたのだった。

空母の方でも惨憺たる情景が展開されていた。負け続けるととことんまで行くものなのかも知れない。

もともとは地磁気の影響か何かで艦隊そのもののレーダー捜索力ががっくり落ちていたことが原因である。観測員が来襲する敵機を発見したときには既に手遅れになっていた。日本からの者の中には「ミッドウェー海戦」の再現か、と考えたものもいたかも知れない。かなり高くからSBDがうなりをあげて急降下して、「アイゼンマオアー」に爆弾を集中させていく。星のマークも散見されたから、ミッドウェイで出し抜かれたアメリカ軍の怒りもその中に込められていたのだろう。ひとしきり「アイゼンマオアー」への攻撃がやむと、今度はPCのいる「ガイア」に雷撃機も含めた猛攻の嵐が襲いかかった。報復攻撃も兼ねた上空待避にかかるとしていた艦載機隊に被害が及ぶ。ヤン・ラオ以下3名の天山は主翼に直撃弾を受けて炎上し、ヤン・ラオは焼死した。前回その戦果で叙勲された坂井二郎は、この少し前にやはり直撃弾で乗機烈風を粉砕されており、今回の戦果は前日の迎撃戦闘であげた一機のみに止まった。ただ乗艦が撃沈された訳ではないので、ある意味命拾いしたことでも事実である。生きていればまたチャンスもある。ディードリットは運良く離艦できた方だったが、その先は余りよくなかった。充分に温まっていないエンジンでは本領を發揮することは出来ず、一応三機はしとめたものの自らも重傷を負っている。本調子なら決してこんな傷は負わない彼女だった。

敵は大してダメージを負っていない。共通の認識が、部隊内の空気を重くしていた。

ショート・ストーリー

『「粉碎されたキティホークのかたわらに

裸の青年が横たわっている

来て、彼のいまわのことばを聞け

裸の青年は言った

私はもっといい土地へ行くんだ

そこでは、すべてのものが輝いている

そこではウイスキーがヤシの木になる

そして毎晩ポーカーをやる……』

「ロナルド、何だそりや？」

「この歌か？これはおれが昔いた陸軍航空隊の中でも、特にP-40に乗っていた連中

が戦死した仲間の為によく歌った歌さ」
 「戦死した仲間の為にねえ。そういう歌なら俺も一つ知ってるぜ。有名な『勇敢なパイロット』さ」
 「ああ、あれか。いいねえ。どうだいみんな、逝つちまつた戦友の為にあの歌を全員で歌おうぜ」
 (酒場のあちこちから賛同の声が上がる)
 「そんじゃ、せいの～
 ああ、勇敢なパイロットが死にかけている
 残骸の下に横たわって、そばですすり泣いている整備員に
 別れの言葉を言った
 腹からシリンドーをだせ
 頭から接合棒をだせ
 頭から腰からカムシャフトをだせ
 エンジンを、もいちど組み立てろ」

(神奈川県・吉楽征二)

◎：大量殺戮をやらかした後だと、一層こたえる……。

制式機追加説

J 2 M 局地戦闘機「雷電」…「雷電」の試作指示が出されたのは昭和16年のことである。本土防空は陸軍の責任だったから、これはおそらく進出先の前線基地の防空を念頭に置いたものだったのだろう。海軍側から三菱への主な要求性能は、「最高速度600km／時以上、上昇力は高度6千mまで5分半以内。航続時間は最速で40分程度。兵装は20mm×2、7.7mm×2」だった。

似たような任務を持った陸軍の「飛燕（川崎製）」が抵抗の少ない液冷エンジンでこれに応じたのに対し、三菱では馬力で勝る空冷エンジンで対処した。実際、複雑すぎた液冷エンジンの供給難というトラブルを考え、三菱の選択の方が正しかった。ただ問題は、正面面積の大きな（搭載の「火星」は陸攻用だった）エンジンを、どうやって装備するか、である。無造作に装備したのでは抵抗が大きくなりすぎ、せっかくの大馬力も無駄になる。設計陣の出した解答はエンジンの前方、強制冷却ファンのカバーを流線形に整形し、空気抵抗を極限まで抑え込むことだった。

ところが戦後わかったことには、この努力こそが無駄だったらしい。というのも、この対策はジェット機または尾部にプロペラを持つ形式であれば有効だったのだが、正面にプロペラを持つ形式の機体では結局このプロペラが抵抗になるため、多少機体そのものの前面抵抗が大きくて変わらないからである。これは正面がまっ平らのFw 190 D、またはP-47などが時速700km台を出していることからも明らかだろう。

雷電の初陣は散々だった。ラバウル方面に配属されたものの、数が足らずにボロボロに撃ち滅らされたのである。本領発揮は結局、本土防空のB-29迎撃だった。最後まで太い胴体ゆえの視界不良を指摘されながらも（速度のためには多少は仕方ないとされてはいたが）、厚木を基地にして大暴れに暴れたのである。空気が薄く、エンジン回転が不安定になる（息をつく、とパイロットたちは呼んだ）1万m当たりまで上昇し、そこから急降下して主翼付け根を狙う戦法が、最も効果的とされていた。

制式機追加説

P 1 Y 1 c 陸上爆撃機「銀河」一一型内

零戦並みの速力と一式陸攻並みの航続距離を併せ持つべく設計された爆撃機。日本機としては複雑にすぎ、稼働率は悪かった。

3座・1950kg・固定火器13×3
 搭載力1000kg・最大速度548km／時

今回の認可機について

D o 3 3 5 … 1 0 0 0 zg・搭載力970kg 鍾馗…310zg

